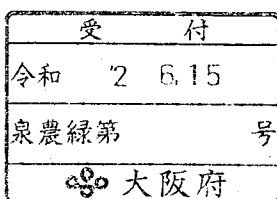


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月15日

大阪府知事 殿
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)



提出者
住所 大阪府泉佐野市住吉町1番地
氏名 不二製油株式会社
代表取締役社長 大森 達司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-463-1511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	不二製油株式会社 阪南事業所
事業場の所在地	大阪府泉佐野市住吉町1番地
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09:食料品製造業
②事業の規模	グループ本社の連結売上高:4,147億円
③従業員数	1083人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付資料(工程フロー)のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙添付資料(組織図)のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2019年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	排出量	1.467 t	43.850 t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理設備の修繕を行い汚泥の脱水効率を高めた(有機性汚泥(スカム)) ・LOT切れ予定品の早期販売による廃棄削減(有機性汚泥) ・濃縮ホエータンク更新(容量UP)(有機性汚泥) ・長期在庫リストの活用、留型品の在庫管理(動物性残さ) ・生産計画によるロス削減(動物性残さ) ・各製品担当による各製品バランスの徹底化、相互確認(動物性残さ)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	排出量	1.467 t	43.850 t
	(今後実施する予定の取組) ・排水処理設備の改修を行い汚泥の発生量削減を図る(有機性汚泥(スカム)) ・LOT切れ前の販売部への早期販売促進(有機性汚泥) ・過剰生産防止(有機性汚泥) ・分別処理の推進(有機性汚泥) ・有価処理及び再加工促進(動物性残さ) ・長期在庫リストの活用、再加工、飼料売り・処分売りの推進(動物性残さ)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各産業廃棄物はそれぞれに分別、保管をしている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③廃電池類	④プラスチック製廃容器包	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
0.500 t	1.320 t	626.055 t	2,577.760 t

②計画

③廃電池類	④プラスチック製廃容	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
0.500 t	1.000 t	625.155 t	2,331.621 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
2,126.190 t	3,615.656 t	10,910.000 t	25.610 t

②計画

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
1,701.180 t	3,615.656 t	10,910.000 t	24.360 t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
2.870 t	4.844 t	0.018 t	32,978.000 t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
2.870 t	4.844 t	0.018 t	32,978.000 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(2019年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化(動植物系廃油)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(2019年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理設備の修繕を行い汚泥の脱水効率を高めた(有機性汚泥(スカム))		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・脱水機の補修、ろ布交換を行い、汚泥の脱水効率向上を図る(有機性汚泥(スカム))		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

③廃電池類	④プラスチック製廃容器	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t

②計画

③廃電池類	④プラスチック製廃容器	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

③廃電池類	④プラスチック製廃容器	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

③廃電池類	④プラスチック製廃容器	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t

②計画

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t
t	t	7,259.680 t	t

②計画

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t
t	t	7,259.680 t	t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
t	4.844 t	t	473 t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
t	4.844 t	t	473 t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
t	t	t	t
t	t	t	32,505 t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
t	t	t	t
t	t	t	32,505 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(2019年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2019年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	全処理委託量	1.467 t	43.850 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.467 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	0.007 t	43.850 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
(これまでに実施した取組) ・委託処理業者を定期的に訪問し、処理状況等を確認。✓			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③廃電池類	④プラスチック製廃容器包装	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t

②計画

③廃電池類	④プラスチック製廃容器包装	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③廃電池類	④プラスチック製廃容器包装	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
0.500 t	1.320 t	626.055 t	2,577.760 t
0.500 t	1.320 t	21.440 t	550.430 t
0.500 t	1.320 t	609.185 t	2,404.620 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t

②計画

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
2,126.190 t	3,615.656 t	3,650.320 t	25.610 t
803.460 t	0.000 t	247.580 t	25.610 t
2,099.220 t	3,615.656 t	3,650.320 t	25.250 t
t	t	t	t
t	t	t	t

⑪木くず	⑫動植物系廃油	⑬廃溶剤	⑭有機性汚泥 (活性スラリー)
t	t	t	t

⑪木くず	⑫動植物系廃油	⑬廃溶剤	⑭有機性汚泥 (活性スラリー)
t	t	t	t

⑪木くず	⑫動植物系廃油	⑬廃溶剤	⑭有機性汚泥 (活性スラリー)
2.870 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
2.870 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	全処理委託量	1.467 t	43.850 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.467 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	0.007 t	43.850 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に対して、引続き定期的に現地確認を行い、施設・設備、処理状況等を確認する。			
※事務処理欄			

②計画

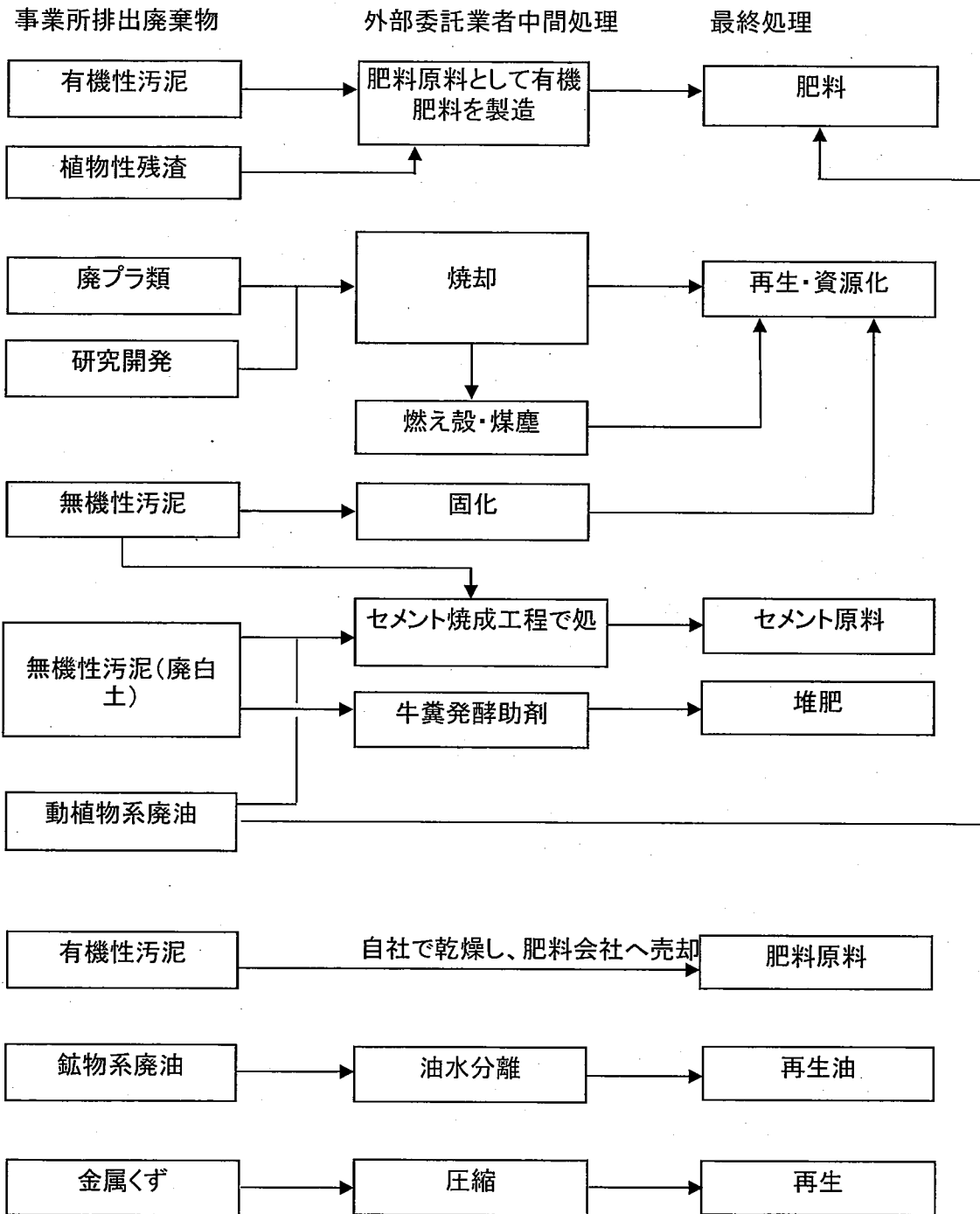
③廃電池類	④プラスチック製廃容	⑤廃プラスチック類	⑥動植物性残さ
0.500 t	1.000 t	625.155 t	2,331.621 t
0.500 t	1.000 t	21.440 t	550.430 t
0.500 t	1.000 t	608.285 t	2,158.481 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

⑦有機性汚泥	⑧無機性汚泥	⑨有機性汚泥 (スカム)	⑩廃アルカリ
1,701.180 t	3,615.656 t	3,500.000 t	24.360 t
803.460 t	0.000 t	247.580 t	25.610 t
1,674.210 t	3,615.656 t	3,500.000 t	24.000 t
t	t	t	t
t	t	t	t

①木くず	②動植物系廃油	③廃溶剤	④有機性汚泥 (活性スラリー)
2.870 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
2.870 t	0.000 t	0.018 t	0.000 t
t	t	t	t
t	t	t	t

産業廃棄物の排出抑制及び減量化に関する資料
処理工程フローシート



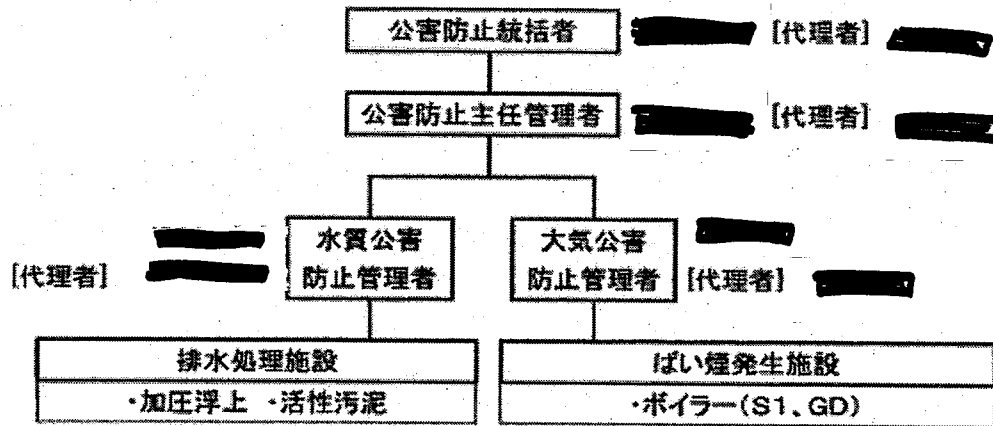


阪南事業所 公害防止/廃棄物管理組織

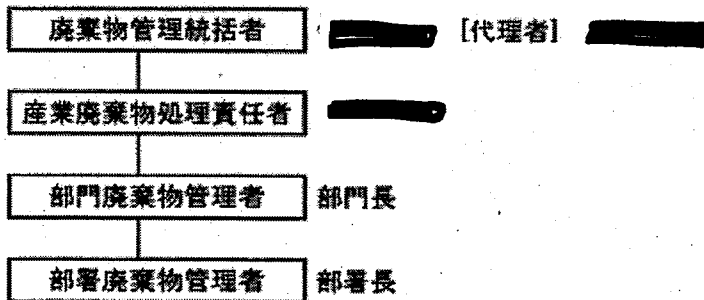
下記管理者を選任して組織を定め管理する。

公害防止管理組織

2020年4月1日



廃棄物管理組織



産業廃棄物管理責任者 : ██████████
 特別管理産業廃棄物管理責任者 : ██████████